

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会
ロシア東欧経済研究所

東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9
購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年8月15日

No. 963

1994年上半期日ロ貿易（商品別輸出入動向）

はじめに

このほど当会では、大蔵省関税局発表の通関実績にもとづいて、1994年1~6月の日本とロシアとの貿易の商品別輸出入動向をまとめたので、ここに紹介する。なお、付属資料として日本とCIS・東欧各国との上半期の輸出入額を一覧にした表を掲載するので、あわせて参照されたい。

前年には久しぶりに回復をみせた日ロ貿易であったが、1994年に入ってから再び停滞基調となっている。上半期の日ロ貿易は総額で20億6,630万ドルで、前年同期と比べてわずか1.8%の伸びにとどまった（円建てで見れば前年同期比6.8%減）。しかも月を追うごとに減速しており、このまま推移すれば通年で前年の水準を確保するのも容易ではないかもしれない。

日本の輸出は6億1,906万ドルで、前年同期比12.5%減であった。最重要品目である金属品はわずかながら拡大したものの、自動車、テレビ、化学品の輸出が半減していることが響いている。日本の輸入は14億4,724万ドルで、前年同期比9.5%増加した。輸入についてはそれほど目立った変動はなく、ほぼ前年の傾向を引き継いでいる。

日ロ貿易の安定的な回復にはロシア経済の再建が不可欠であり、そのためにも日本の各層の積極的な対応が必要であることがますます明らかになってきたといえよう。